

AMCWA会報



NPO法人 アジア母子福祉協会

東京都品川区西五反田2丁目15番7号

ジブラルタ生命五反田ビル3F-ITL

mail: tokyo@amcwa.org tel/fax: 03-6424-5681

ミャンマーに人道援助を

アジア母子福祉協会副理事長 寺井融

ASEAN首脳会議が開かれた。ミャンマーについても話あわれたようだが、成果は見えてこない。選挙がいつになるのかも分からない。

現地からは治安悪化と物価高騰の声が届く。と言って、前途を悲観してばかりはいられない。子供たちやミャンマー国のため、保育園や孤児院などへの支援を今後も続けて行きたい。

今号ではミャンマーに関する私の願いをもうひとつ記したい。

ミャンマーにご訪問を

天皇・皇后両陛下がインドネシア（蘭印）を訪問された。即位後の初外遊である。インドネシアは中国、インド、アメリカに次ぐ世界第4位の人口大国（約2億7000万人）。イスラム教国の中でも最大の人口を有す。バンドン会議（1955年）を主導したアジア・アフリカにおける有力国（G20メンバー）なのだ。

先の大戦（米国流に言えば太平洋戦争、日本国の公式呼称なら大東亜戦争）で、日本軍将兵に多数の犠牲者を出した国でもある。オランダに350年も支配されてきたのだ。日本軍がそのオランダ

軍を撃破し、地元のペタ（郷土義勇軍）設立にも関わっている。大戦後はペタが主力となり、日本軍残留兵（約900人）も協力して、オランダ軍と戦い抜いて独立をかちとった。天皇が慰霊のため蘭印の地で頭を垂れた意義は大きい。

2017年に先の天皇陛下（現上皇）がベトナムを訪問したのも理解ができる。ベトナムはカンボジアやラオスとともに仏印と呼ばれ、フランスの植民地とされてきた国だ。ホーチミンを指導者とするベトミン（ベトナム独立同盟会）が独立戦争を展開し、日本軍の残留兵（800人）もベトミンに協力してフランス軍と戦っている。ベトナム訪問において、天皇が残留日本兵の子孫と会い、苦難の人生を慰め、また戦没者への慰霊の誠も捧げた。

残るは英印である。先の大戦のとき、日本軍は海南島で訓練したビルマ人志士30人とともにビルマに歩を進め、英軍を追放した。さらにインドの解放のため、インパール作戦を展開。ビルマ戦線で18万6000人も犠牲者を出している。ミャンマーにもぜひご訪問いただきたい。

（「月刊時評」2023年8月号より）



ミャンマーの人々に感謝

アジア母子福祉協会常務理事 大崎直美

初めてヤンゴンの地を踏んだのは1995年6月のことでした。

その当時長い軍政国家であったミャンマーに、女性一人の渡航は危険といわれる時代でした。私はミャンマーの友人と一緒にいたのですが、それでも心配されました。

ミャンマーという国名にも馴染みが薄く、話をするとほとんどの方が「あ〜ビルマね」「ビルマの堅琴だよ」と言われました。

《軍政・スーチンさんの軟禁・ローレイ・堅琴》そんなイメージしか持たれなかったお国でしたが、私は一度で大好きな国になりました。ここに住む人々こそ宝物だと感じたからで



す。28年のお付き合いとなったのも、この地で育まれた暖かな、やさしく、穏やかな人々でした。

私が足しげく訪緬するうち、3人の息子たちも興味を持つようになり、高校に進学後ひとりずつ訪緬させて頂きました。ミャンマーの友人宅を拠点にバガンやマンダレー、長男は船の旅、三男は友人の息子さんたちとバス旅行を、次男は私の訪緬に合わせヤンゴン迄同行し、その後バガンへ一人旅に出かけました。3日後の再会を約束して私は仕事のスケジュールをこなしていました。旅ではいろいろな出来事が起こるもので、彼にとって一生忘れられない出来事がこの旅で起きたのです。

一人旅は楽しく、ペンションのご主人夫婦もやさしく、すこぶるエンジョイしていたようです。最後の日、お世話になったご主人が飛行場まで送って下さいましたが、ありえないことに搭乗予定の飛行機が、彼らが空港に着く前に飛び立ってしまったのです。（付録に続く）

ミャンマーの思い出

アジア母子福祉協会常務理事

貫井文彦



私の「初ミャンマー」は今から12年前の2011年2月3日で、アジア各国への業務出張が多かった当時の私はいつもの市場調査を行い、ヤンゴンに向かった。だが、その場所はよく見かける東南アジアの街とはずいぶん違った。

私が住む横浜市の「神奈中バス」や「横浜市営バス」の車両が何台も街中を走っていた。携帯電話はもちろん繋がらず、クレジットカードも使えなかった。そして、買い物もいわゆるマーケットに行くしかなかった。

その一方で「美しい心」もまた当時のヤンゴンには残っていた。何度目かのヤンゴン出張時に私の部下が空港で財布を落としてしまった。市内でそれに気付いた彼だけ単身、空港に引き返したが、驚いた事に現金も含め何も奪われずにそのまま届けられていたそうである。戻ってきた彼が本

当に嬉しそうな表情だった事を今でも覚えている。

その後アジア関連とは違う業務分野を幾つか経て、私はこの2023年4月から再度の海外担当となり、この6月に数年ぶりにヤンゴンに行き、またしてもたいへん驚かされた。

道路面が綺麗でフライオーバーもできていた。街中に「日本(塗装のまま)の中古車」は見当たらなかった。ショッピングモールが幾つもあった。そして民族衣装を着た市民が劇的に減っていた。

自分達は気付いていなくても、この10年で東京もずいぶん変わったのだろうし、ヤンゴンも大きく発展して当然であり、それはミャンマー国民にとっても歓迎すべき事であろう。

ただ、私は「美しい心」はそのまま残り続ける事を切に願っている。それこそがミャンマー最大の魅力だと思う。次回出張で私が自ら財布を落としてしまいそれを自ら確認する事がないよう、身の周り品の管理をしっかり行うよう心掛けたい。

マダガスカルでの取り組み

マダガスカルプロジェクトへの変わらぬご支援、ありがとうございます。

昨年度も日本マダガスカル友好協会との共同事業として、首都アンタナナリボに赴任された原田会員がNGO活動家アジャさんの協力を得てアンバトランピ児童園での取り組みを進めました。

同園ではまとまった植樹の余地が乏しくなり、これまでに植樹した敷地や植樹本数、現存本数などを確認するとともに、児童園での植樹以外の支援可能性、即ち水田、畑や淡水魚養殖などについてあわせて調査しました。詳しくは会報46をご覧ください



ださい。

今年度は、原田会員とアジャさんにより引きつづき既存樹木の維持を行うとともに、児童園の苗床を活用した周辺での植樹可能性の探索や同園におけるそのほかの支援について、協会とAMCWAが支援するのにふさわしい分野と具体的な方法を検討していく予定です。



サマタン園に三輪トラック

ミャンマー、ネピドー郊外のサマタン園(在籍約1100名)にAMCWAの支援で三輪トラックが入ります。

★総会開催★ 5月20日土曜日午後2時より、日比谷の日本倶楽部にて今年も対面で総会を開催。活動報告、決算、会計監査及び活動計画、予算と役員人事が承認されました。オブザーバー参加もえて真摯な意見交換が行われました。活動報告はじめ各々の内容はAMCWAウェブサイトに掲載していますのでぜひご覧ください。なお役員は任期半ばですが寺井副理事長、貫井常務理事、新田誠監事及び柳澤信一郎専務理事が着任しました。

ミャンマーの人々に感謝(続き) 常務理事 大崎直美

ペンションのご主人と友人は親しい間でしたので、一人旅の息子を気遣いその後の手配等をしてくれましたが、その日はそれが最後の便、というよりは1日1便のヤンゴン行きだったのです。翌日夜便での帰国予定でしたので、明朝早くマンダレー乗り継ぎヤンゴン着にさせることになりました。

しかし、ヤンゴン空港で待っていた私にその状況が伝わるはずもなく、搭乗しているはずの飛行機から息子が降りてこないという状態に恐怖を抱きました。ミャンマーにいて初めての恐怖でした。空港スタッフに聞いても「搭乗名簿に息子の名前はない」の1点張りで、良知があきません。

その後ペンションのご主人の電話で安否がわかるまで40分程のことだったのですが、何時間もたったような気持ちでした。

翌朝マンダレーでの乗り継ぎ時間が4時間ほどあったため、空港内のベンチで待っていたそうです。日本の少年が一人で静かな空港にぼつりといることが珍しかったのか、そこで働くいろんな人が声をかけてくれ、彼は楽しかったと言います。

お昼近くなった時、ライフルを抱えた軍服姿の男の人が自分に向かってゆっくりと歩いてくるのが見え、「やばい」と思ったそうです。その人はミャンマー語で話しながら、息子を軍用車に乗せ空港の外に出てしまいました。その時、殺されると思った。本当に感じたようです。この出来事で私が伝えたかったのは、ここからなのです。

軍用車が着いたところは小さなバンガールのようなレストラン、ミャンマー語が分からないながらもムードとしては、好きなものを食べ

ろと言っている。

さっきの恐怖は吹っ飛び、その軍人さんの顔がすっごく優しく見えた。

おなか一杯出されたものは全部食べた。おいしかった。

無事にヤンゴンで再会できた息子は、私の心配などお構いなく、満面の笑みでその出来事を話してくれました。

私は聞きながら、涙が止まりませんでした。本当にやさしい人たちに感謝しかありませんでした。

その息子も今では3人の子どもを持つ父親です。その後も何度かミャンマーは訪れていましたが、次は息子を連れていきたいと言っています。

1日も早くミャンマーの人々に平和が訪れますよう、祈ってやみません。

最後になってしまいました。アジア母子福祉協会と私のご縁を結んでくださった山根先生に感謝の気持ちと、ご冥福をお祈りしております。ありがとうございました。

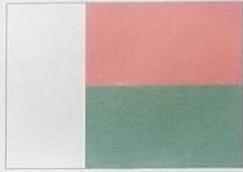


★ミャンマー、マダガスカル支援
の寄付受付中★

三菱UFJ銀行 神田駅前支店
普通 0833165

アジア母子福祉協会理事長山口洋一へ
詳しくは 03-6424-5681 迄

マダガスカル



ミャンマー

いま
森林が減り
外来樹植林で

アジア母子福祉協会

動物、鳥、虫が消え
土地、海がやせています

アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会



AMCWAは
在来樹を

- 09~ 首都近郊2児童施設
- 14,19 首都の北A村共有地
- 15 北部ブエニ県A村
- 16,17 同上B村共有地、マングローブ
- 18,20~22 A児童施設

アジア母子福祉協会

植えています

2022年は (18, 20, 21年度に続き) 首都の南約80km アンバトランピ児童園 (敷地11ha) で成果と植樹余地を確認しました。今年には園以外も含め展開可能性を探ります。

アジア母子福祉協会

動物、鳥、虫が戻る

豊かな土地→海を取り戻す
★SDGs
15 陸の豊かさを守ろう
14 海の豊かさを守ろう

アジア母子福祉協会

児童養護施設 自立支援

アジア母子福祉協会

梁井 新一奨学金



大学生 29名支給中
12月で新規開始終了
★継続へご支援を

アジア母子福祉協会

農園



アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会



サマタン園 (1,100名)

アジア母子福祉協会



アジア母子福祉協会

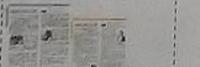


100ha 可能性大 農機支援

アジア母子福祉協会

ご参加を (お好きな形で)

◎会報を読む



◎メルマガを読む

※ 承り票にご記入を (お名前)

アジア母子福祉協会

ご支援ください

◎マダガスカル PJ 2023

日本マダガスカル協会と共同事業
★植樹メンテと大切な調査に
★1000円/口、目標 15万円★



○ミャンマー草の根支援

★幼稚園メンテ、児童養護施設の農園整備・学生奨学金など

★1万円/口~目標 1,000万円★



◎講演会

ツアー◎ご寄付 1,000円 ~1,000万円

◎技術指導 (マダガスカル・植樹 ミャンマー・農業等)

◎会員に (1万円/年)

アジア母子福祉協会